

＜いただいた主なご質問とそれに対する回答＞

Q 計画を見直して時代に合ったものに整えることは必要だと思いません。人口減少や土木費に費せる金が限られる中で、必要な整備を効率的に行えるよう、引き続き検討して欲しいです。
計画を適宜見直していくことは大切であると思えます。

A 東京都と特別区及び26市2町は、都市計画道路の整備を計画的、効率的に進めるため、おおむね10年間で優先的に整備すべき路線を定めた「事業化計画」を策定し、事業を進めています。
今後とも、東京を取り巻く社会経済情勢の変化等を踏まえ、都市計画道路の検証を行い、「整備すべきものは整備し、見直すべきものは見直す」との基本的な考えに基づき、適宜適切に検討してまいります。

Q 住民の生活に必要な道路として今後も協力しますので宜しくお願い申し上げます。

A 本オープンハウス型説明会実施後、都市計画法の定めに基づき、適切に手続きを進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

Q 理解しやすく、図を多くしてください。「理解しにくい」!!

A 今回の都市計画素案については、スライド動画や説明パネルにて図や表を用いて説明することに努めていますが、いただいたご意見については今後の参考にさせていただきます。

Q 八王子3・4・8の市施行優先整備路線ができるるととても便利になるので、未整備区間の整備を進めてほしい。八王子3・4・8号の今後のご検討よろしくお願い致します。

A 今回の都市計画変更素案の対象区間は、八王子3・4・8の堰場交差点付近です。

八王子3・4・8のうち、ご要望の八王子3・3・10から八王子3・3・68までの区間については、第四次事業化計画において、市施行の優先整備路線となっています。そのようなご意見をいただいたことは、所管部署に伝えます。

Q 今回の立体交差の都市計画変更は、現在の道路から何も変わらないということの良いのか。

A そのとおりです。

Q いつ頃から立体交差の計画があったのか。

A 八王子3・2・5については、昭和41年、八王子3・4・8については、昭和39年の当初の都市計画決定から立体交差計画が位置付けられています。

Q 説明会ではなく、オープンハウス形式としたのはなぜか。自分の土地について詳しく知ることができるので、オープンハウス形式なのは良いことだと思う。

A 今回の都市計画変更素案は、新たな用地買収や工事は発生せず、現地の道路形状は変わらないことから、都市計画線が変更となる皆様の土地について詳しくご説明させていただくことができるため、今回については、八王子市とも調整を図り、オープンハウス形式としました。